

<事業名> 朝来市観光ナビゲーター養成事業

団体名	朝来市観光協会
所在地	朝来市和田山町
代表者名	桐山 徹郎

事業内容	朝来市の観光ボランティアガイド、観光案内所職員などを対象に朝来市の観光情報について SNS を活用して国内外に向けて迅速・的確・魅力的に伝えるスキルを身に着けるためにインスタグラム、FACEBOOK などの基礎知識の習得や画像撮影の技術の向上に加えて兵庫県道路公社のアドバイスによりドローンを活用した撮影の基礎を学ぶ講座を3回にわたって実施した。	
地域	朝来市全域（主として和田山町竹田地区）	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS を活用した観光情報発信の担い手を育成することができた。 ・ ドローンを活用した映像技術の基礎知識を習得した。 ・ ドローンで撮影した竹田城跡の映像を朝来市内3カ所にある観光案内所にあるモニターで上映することが決定した。 <p>②地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本講座を通じてスマホなど SNS の情報発信について苦手意識を持つシルバー層の食わず嫌い（苦手意識）が少しでも払拭出来たこと。 	
事業経過	年 月 日 令和3年 11月2日	第1回企画会議開催 出席者 10名 コロナ禍の中での講座開催の可否について協議した。蜜を避け、検温、消毒、換気などを徹底し20名以内の人数で開催する事を確認。
	11月16日	第2回企画会議 出席者 9名 実施講座の内容についての協議。同じ講座を3回実施するよりは、毎回、違った講座を実施して参加者のスキルアップを図るためにドローン講座を2回、SNS活用講座を開講することに決定した。
	12月15日	第1回講座開講 参加者 18名（申込20名、当日欠席2名） 「ドローンを活用した情報コンテンツの造成」 講師：谷 吉将氏（株式会社明石土建社長）
	令和4年 1月20日	第2回講座開講 参加者 10名（申込14名、当日欠席4名） 「ドローンを活用した情報発信、SNSとの連携」 講師：谷 吉将氏（株式会社明石土建社長）
	2月23日	第3回講座開講 参加者 20名（申込23名、当日欠席3名） 「スマホを活用した写真撮影や情報発信の手法」 講師：森 美沙登さん（EQCQsupport 代表）
	2月28日	検証会議 出席者 7名 今回実施した講座について検証を行った。総論としてはコロナ禍と大雪による悪天候の中で実施できた意義は大きかった。課題としては市内4地区の中で和田山地区の参加者の比率が全体の80%を占めており、他の地区（山東、朝来、生野）が20%と地域バランスが悪かったので、今後セミナーを開催する時は4地区で開催するなどの工夫を要する。

協働の相手方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朝来市産業振興部観光交流課 2. 竹田城跡ボランティアガイドの会 3. 朝ツイの会 4. 朝来市観光SNSアンバサダーチーム「朝ばえ」 5. NPO法人朝来創生プロジェクト
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝来市観光協会が発足して2年が経過したが、組織の基盤や体制が脆弱である。 ・上記の課題を克服するにはあと3年は時間が必要である事。 ・天空の城「竹田城跡」は全国的な知名度があるが、その所在地である朝来市の知名度が低く、情報発信をいかにして実施していくか。 <p>②地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり定住人口の減少を補うために観光を中心とした交流人口の増加に取り組んできたが、竹田城跡の入場客数の減少により交流人口が減少している事。 ・上記の課題を克服するためにはサイクリング、トレッキングなど自然を活用したアウトドアスポーツの取組に力を入れて、リピーター客の増加を図る事。 ・生野銀山、神子畑選鉱場跡の産業遺産観光の来訪者数の伸び悩みを解消する事。 <p>〈令和4年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング、トレッキングなどのアウトドアスポーツの拡充。 ・食（地元食材を使用した加工品）の開発。 ・訪日外国人（インバウンド）に向けた情報発信、マーケティング。 ・朝来市観光基本計画と連携した観光振興への取組。 （朝来市版DMOの実践が目的であるがDMC的な取組の実施） ・朝来市観光協会の一般社団法人化による組織としての基盤強化。



令和3年12月15日 第1回講座



令和4年1月20日 第2回講座

令和4年2月23日 第3回講座